

まち 都市づくりフォーラム「一緒につくろう、住みよいまち昭島」報告

【日時】 令和2年2月2日（日）

【場所】 昭島市役所1F 大ホール

【全体スケジュール】

14:00 開会

14:05 基調講演「市民が主役のまちづくり」

14:35 テーマごとのワークショップ

15:50 講評

16:00 閉会

【基調講演】

講師：柳沢 厚さん（C-まち計画室代表、昭島市まちづくり委員会委員長）

スライドを使用して「市民が主役のまちづくり」をテーマに講演。

講演要旨：都市計画とは、都市内の物的環境が、都市内での生活・生産・文化の健全な発展に寄与できるように整備・管理・運営されることにより、健康で文化的な都市生活と機能的な都市活動の確保を目指すもの。都市マスは、都市計画を進めるための行政の行動指針であるとともに、市民や企業等の行動指針としても、本来は役割を果たす必要がある。都市計画の価値観は変化しており、当初の「安全」「衛生」「効率」に加え、その後に「快適」という価値観が出てきた。これらは基本的に行政が担ってきたが、ここで「張合（はりあい）」を重要な価値観に据えるべきではないか。そのまちにいることに関しての満足感、誇りを感じられる「張合」という領域は、市民や企業の皆さんと協力して進める必要がある。張合の価値観を重視する取組とは、一つは「人と人の出会いの多様性を確保する」こと、もう一つは「自分のまちや地域への愛着心を育む」ことで、さらに具体的には、「まちなかの歩く環境の充実」、「地域の資産・名所の発掘、維持、形成」が挙げられる。例えば、主要な歩行ルートの物的環境の充実、オープンカフェや店先のベンチなど歩行をサポートする仕組みづくり、家の造りを道路側にやわらかく、オープンガーデンなどの雰囲気づくりなど。また、地域の資産・名所を、市域を超えて著名なA級、地域内で知られているB級、個人的な楽しみであるC級とすると、それらの維持・管理、お気に入りスポットの蓄積・発信、特定のエリアの環境・空間の質を向上させる継続的な取組であるUDC-X（Urban Design Center X）への参加など。皆さんがこれらの「張合」への取組を進めることにより、都市計画の6番目の価値観である「持続可能性」についても昭島のスタイルができる可能性があるのではないのでしょうか。

【ワークショップ】

○テーマ『自然』、『生活』、『都市』、

○グループA「自然」、グループB「生活」、グループC「都市」、グループD「都市」のテーマで、4グループに分かれて実施。

【ワークショップ各グループの発表内容】

★グループA 『自然』

- 地下水 ⇒20年後も維持していけるよう努力する。
- 景観 ⇒高いところでなくても富士山の眺望がある。
滝山跡からの山並み眺望がキレイ。
宅地化でどんどん緑がなくなっているの、条例で規制して守っていったらよいのではないか。
- 水辺 ⇒サステナビリティというところで、良いもの維持とアピールをもっとしていくべき。
- 行政に対して⇒昭島市は長期的な活動が足りていないのではないか。
長期的な活動に対して行政の取り組みが足りないことについて、担当者が代わった時に申し送りをしっかりして対応してほしい。



★グループB 『生活』

- 図書館 ⇒新旧図書館についての期待と心配の声がある。
- 栗田工業 ⇒栗田工業のラグビーをもっと盛り上げるべき。
- 昭島市クリケットの町⇒世界で活躍しているものもいる。
- バリアフリー ⇒昭島市は段差が多い。市民からもっと声を上げるべき。
- 下水道 ⇒整備が足りていないと感じる。
- 防犯 ⇒防犯カメラが少なすぎる。もっと設置する必要がある。
- 防災 ⇒減災の取り組みについて、それぞれが自己責任で備える必要がある。ご近所同士で助け合う仕組みを推進していく必要がある。
4～5年前に避難所運営委員会ができたが、昨年の災害時には市だけで運営していたことに憤りを感じる。
- その他 ⇒自治会への加入率が毎年1%ずつ下がっている。食い止める取り組みが必要である。
空き家の活用も必要である。
ボランティアポイント制を導入してはどうか。
男女共同参画を進め、地域で子育てできる環境を整える必要がある。
ゴミ問題を住民の意識の中にしっかり根付かせていく必要がある。
居心地の良い場所づくりが必要。
横田ベースがあることのメリットをもっと抽出できれば良い。
市政の認知度を伸ばしていければ良い。



★グループC 『都市』

- 交通 ⇒ 拝島駅南口の整備が完了したが、他の地域については幅が4mしかない場所もある
セッバックはなかなか進んでいないのが現状。
- 自転車 ⇒ 自転車道路が必要。車道は危険である。
- カフェ ⇒ カフェの充実推進。
- たばこ ⇒ 歩行喫煙禁止についての取り組みをもっと行うべきである。
- 防災 ⇒ 昨年の台風19号で被害のあったくじら運動公園を早く復旧できるようにしてほしい。
また、くじら運動公園が調整池としての機能を果たしたために、最小限の被害で済んだ
という面もある。
- 道路整備 ⇒ 行政だけでは難しいので、住民の方も協力が必要である。
- まとめ ⇒ 「行政⇄市民」立場違うが、それぞれの役割を考えてやっていくべき。ともに目標を見
据えてやっていく必要がある。



★グループD 『都市』

- 交通 ⇒ 安心してまちを歩きたいという観点から道路は大きな関心の一つ。
ベンチや小さな公園があって、ゆったり過ごせる場所が大切だと考える。
保育園、小学校の通園通学路に歩道が狭かったり、歩行者と車が入り乱れる場所もある。
- 交流拠点 ⇒ 昭島駅北口のショッピングセンターなど人が集まって意見交換できる場所が大切だとい
う意見があった。
人と人が交流してまちを作っていくのが都市の特徴と考える。
- 景観 ⇒ 富士山の眺望。
水や緑の環境をもっと良くもっと豊かにしていきたい。
まちの外観をキレイにして、歩く人住んでいる人が心地よく過ごせる場所であると良い。
くじらをシンボルにして目につくようになるとよい。
- 意見 ⇒ 若者がまちづくりに参加する機会が少ないので、若者を集めるためには、コンテスト(ま
ちの写真をとっていい写真を表彰する等)を行うと良い。そうすることで、まちのキレイな所を探したり、まちの壁や塀、花壇がきれいになり、人の心にまちをキレイにする
という気持ちが生まれると考える。



水辺・河

- ・昭島の水と緑とは？
- ・南の方 用水路
- ・水と緑 自然環境の保全強化と継続
- ・河川利用 増やしてほしい
- ・水辺の公園の入りやすさ向上⇒子どもの頃から自然に親しむ
- ・水辺散歩道マップ
- ・歩きながら自然と触れ合える環境整備

その他

- ・新図書館を活用（環境講座・生物・専門書を読む）
- ・生物と親しむ⇒子ども向けだけでなく、大人向けの講座
- ・生物多様性を守る（赤トンボ復活）⇒ネオニコチノイド農薬規制を
- ・行政と活動団体との連絡強化
- ・行政対応と取り組み方
- ・市営（バス）の今後の市の考え方
もっと使い勝手なルートはないものでしょうか
- ・JR 駅のエスカレータやエレベーターが高齢者にとって少ない
- ・高齢化社会に伴いバリアフリーのやさしい街に
- ・環境と開発の連携 過去の事業に注視した開発

地下水

- ・水道の民営化をしない
- ・水質を守る⇒20年後も地下水を飲める環境
- ・基地汚染水
- ・農薬（ネオニコチノイド）
- ・水がとにかく売りなので、残していかないと・・・
- ・おいしい水
- ・昭島市の地産アピールをもっとして欲しい（あきしまの水）

景観

- ・河川敷はとてもキレイです滝山丘陵
- ・和田橋上から見える富士山はとても良い
- ・東中神昭和記念公園
- ・富士山が見える地形
- ・玉川上水沿いの緑道の雰囲気は良い
- ・景観資源をもっとアピールしてほしい
- ・新築戸建て住宅密集
- ・駅のロータリーはもっと花壇等華やかにしてほしい 昭島駅
- ・空き家少しずつ増えている？庭とか・・・
- ・中神坂玉石の壁
- ・街路樹や道路の緑はいっぱいあってほしい
- ・桜、花見、多摩川、個人宅にも
- ・緑を減らさない⇒宅地やアパートにもなるべく植樹をしてもらう
- ・オープンガーデンがあれば行ってみたい（イベント期間のみでも）
- ・市政の木少ない気がする
- ・銀杏の木
- ・緑は少しずつ減っている 奥多摩街道沿い 畑とか樹木
- ・昭島市の南側はちょっとコンクリート多め、北側はイチョウがキレイかな

全国一番の飲み水

維持



発信

条例

- ・宅地に開発に緑地面積確保 マップ

多様な居場所の選択肢がある

ゴミ問題

横田ベースをメリットに考えられる

市制を敷いて長いのに認知度が低い

防災・災害

- 災害情報を市民に行き渡らせてほしい
- 減災の備え
- 被災の情報
- 市として防災体制の底上げ
- 自助と共助⇒互近助
- 避難所運営
- 公助の限界
- 自己責任⇔災害
- 実践的な避難訓練実施

コミュニティ

- 心地よい居場所づくり
- 小さなボランティアの有償化→ポイント制度
- 空き家が多く危険
- 空き家は有効活用すべき
- 独立老人が増えて居場所がない
- 自治会の組織を活性化させることは喫緊の課題
- 人と人とがにこやかに接する
- 各家庭が街の美化に参加
- 自治会加入率減少
- 地域で子育て（サロン活用）
- 男女共同参画の視点と実践
- 自由な遊び場（屋外）
- 児童館機能の充実

生活環境

- 街灯をもっと設置
- 道路の段差の解消
- 市内どこでも点字ブロック
- 歩道の整備 車いすでも楽々移動
- 公道の整備
- 下水道の整備
- 土地開発時の切り方
- 土地の用途地域
- 防犯カメラの設置

施設・まち資源

- 新市民図書館の活用、庭、カフェ
- 3月オープンのアキシマエンシス楽しみ
- 新幹線図書館の車体はどうなるの？
- アキシマエンシス図書館の活用
- 図書を増やす
- 図書館を増やす
- 社協、公民館、市役所→イベント、行事の一覧化
- 子育て情報の集約と発信
- 文化的なまち
- フォレストインの美術館を盛り上げる
- 市は文化面の施設環境づくりにもっと金を使ってほしい
- 栗田工業さんラグビー部を盛り上げよう
- クリケットのまち昭島
- 文化的施設の***
- くじらを全面に出しているが、発見場所が荒れている
- つつじが丘ショッピング、くじらロード等、商店街の活用

行政⇄市民

交通

- 市内、南北の交通が少ない
- 生活道路の安全***がない道路（宅地の協力？行政買収）
- 住宅地内の道路 幅を4m確保（セットバック協力）
- 歩行者昼と夜の違い

道路（網）

- 道路整備が進まない
- 人口減少の中、中途半端なままで終わってしまう
- 自転車はどこを走る？
- 自動車から見れば車道を自転車が走ると危険
- Aバス本数少ない
- 自転車が走りにくい
- 拝島南口行政境、昭島市 福生市
- 拝島南口道路整備完了
- 拝島南口に理念「ぶらぶら歩きが心地よいまち拝島」
- 市役所行きにくい
- 昭島駅狭い雨の日使いにくい

街並み

- 街並みにカフェなどあればよいが、駅前でも店はなくなる。
カフェやって行けるのか？
- 街路樹の剪定がひどい
- 条例地区計画行政またぐセットバック
- 歩行喫煙→分煙されていない

市民の協力（協働）

- 空地の活用、地主の協力、運営の目的
- これからのまちづくりが重荷
- 持続可能性⇒市民住民の協力必要
- 整備に行政に対し上から目線
- 市が整備全ての行政にまかせる考え
- アダプト必要あり 維持管理

コミュニティ

- お祭りのコミュニティが少ない
- 子どもへの声かけ（不審者）
- 互近助 地域の協力が得られる 場所づくり
- 図書館が移転 市の中心近くなり、文化活動の拠点として期待
- 徒歩圏で楽しみがない（商店）

防災

- 災害への備え→災害からの復旧
- 学校避難所少ない、休むところがない

景観

- 美しい屋根（昭島らしさ）を探す
- 外観の色彩は緑が映えるように
- 企業に景観まちづくり参加
- 歩道の材＝整える、昭島の資材
- 富士山の眺望上空スペース
- 立川市との連携を踏まえて町構造を考える
- 洗練されたサイン・デザイン
- くじらテーマの市内各所デザイン
- 看板デザイン整える
- 街並み景観へ地産活用
- 景観住宅地縁の確保

緑の保全

- 市農地の維持
- 花緑コンテストで花いっぱい運動
- 美しい緑いっぱい
- ザリガニ釣りができる子どもの遊び場を作る

資源循環

- 建物壊す時の廃材利用
- 企業の廃材リスト⇒まち活用へ
- 空き家の活用の為の法改正
- 昭島地産材をまちの景観へ活用
- 焼却設備廃熱の利用⇒温水プール

学校・生涯学習

- 美しいまち並みを学ぶ
- 昔の昭島の家並みを学ぶ
- 町の色を知る建物（誇れるもの）
- 建築職人のワークショップ
- 歴史対象への表示、看板
- 戦争と軍需工場の歴史継承

SDGs のためにもダウンサイジングを！

- SDGs に沿った町づくりの推進

アキシマエンスの歴史の展示 紹介

- まちゼミを発展させる工場のショールームを開放する
- 稼ぐまちづくり⇒クジラの活用⇒水族館

イベント

- まち全体でアウトドア日を作る
- まち全体キャンプ 道路でもキャンプ
- 美しい誇れるまち並み、道、家を挙げる
- 音楽や作品の発表、展示がきる場所を各所に作る イベント活性化
- 世代間交流
- オープンカフェ（飲食）
- 誇れる建物や道 リストアップワークショップ
- 歴史資産建物オープン
- まち並みコンテスト

防災

- 昭島の防災の遅れ 市民の自覚

交流拠点

- 休憩所は誰でもすぐに立ち寄れるが、誰かと話すことが必要 水とかも飲めるようにする
- 高齢者の人間改革道端会議
- 若人の参加
- 道の駅 昭島名産品の活用
- フリーマーケット

交通

- ベンチ（デザイン工夫）
- 歩道、歩行者通行スペース（特に通勤、通学路）
- 街角のオープンスペースベンチの設置
- 何時でも市内どこでも行けるオンデマンドバスのような交通を整備する
- 気軽に利用できる休憩所を随所に作る
- 高齢者も移動容易な道づくり
- 道路狭い路
- 万年渋滞箇所がある原因分析して解決しよう
- 陸橋の設置（駅⇄ヨーカドー⇄トイザラス⇄ホテル）
- サークル交差点
- ブルーの自転車道路はまち並みとして美しくない マークにする

立川基地跡地再開発

- IR企業誘致⇒若手の勧誘
- 立川基地跡地の図書館設置
- 少子高齢化 2040年ピーク
- 2025年団塊雇用、企業
- 横田基地跡地利用

経済

- 産業、住宅、工業地帯と住宅の住み分け共存

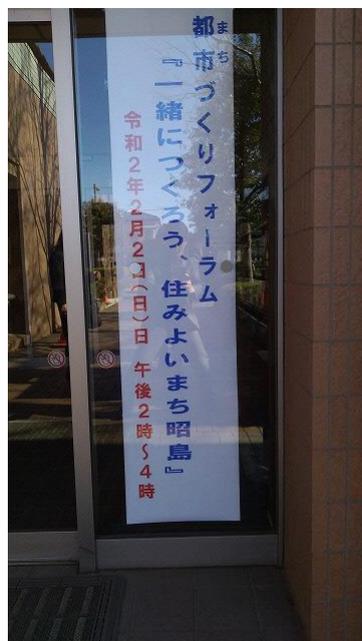
【フォーラム風景】



フォーラム会場（昭島市役所）



基調講演風景



垂れ幕



ワークショップ風景 1



ワークショップ風景 2



ワークショップ風景 3



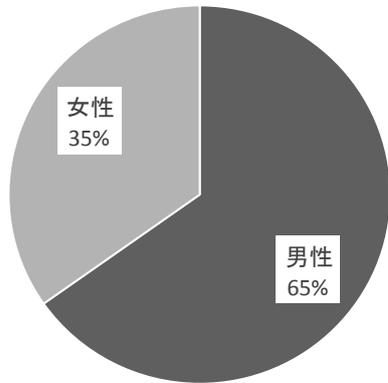
ワークショップ風景 4

【アンケート結果】

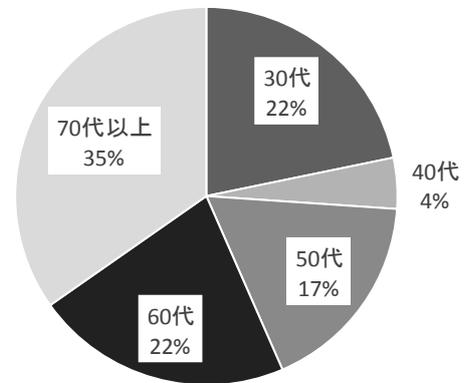
参加人数 25 人

回答数 23

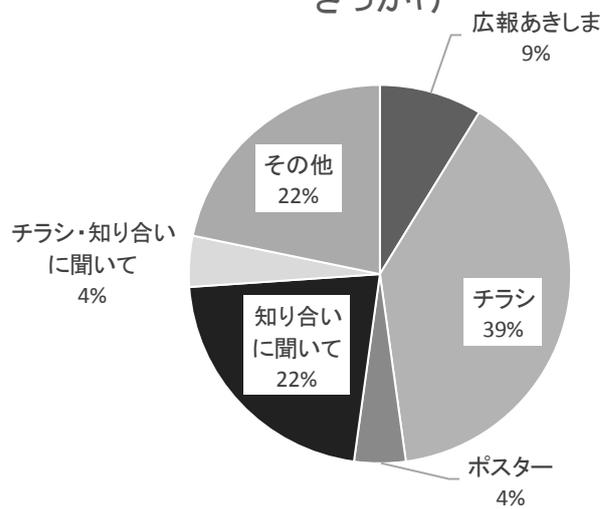
性別



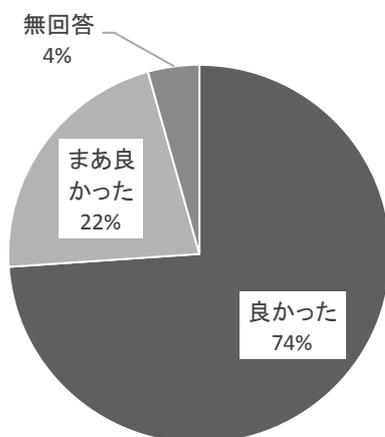
年代



きっかけ



基調講演



ワークショップ

